

2020年度 私立大入試結果展開図

《2019年度入試》

定員管理厳格化の影響による都市部の難関大の難化に対する敬遠傾向→中堅大・地方大の競争激化
センター利用方式への志願者集中→センター試験平均点アップ→競争の激化と合格ラインのアップ

大学志願者数増減(単位:万人)

年度	2018年度	2019年度	2020年度(推定)
現役	65.1	64.2	63.5
既卒	7.3	7.5	6.8
合計	72.4(-0.4%)	71.6(-1.1%)	70.2(-2.0%)

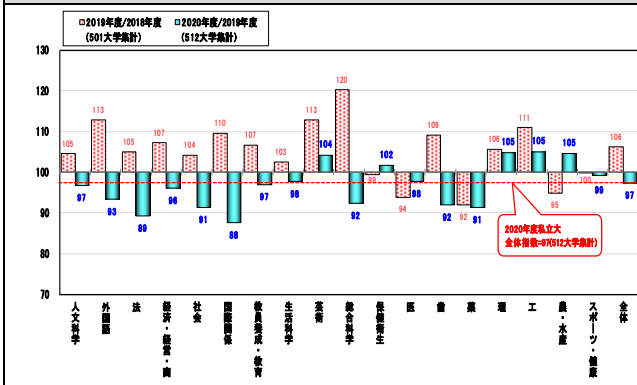
※現役減少は18歳人口減少、既卒減少は弱気な出願で再チャレンジ減少

一般選抜志願者数は14年ぶりに減少、最終的には379万人前後と予想
対前年度指数 97(512大学集計)

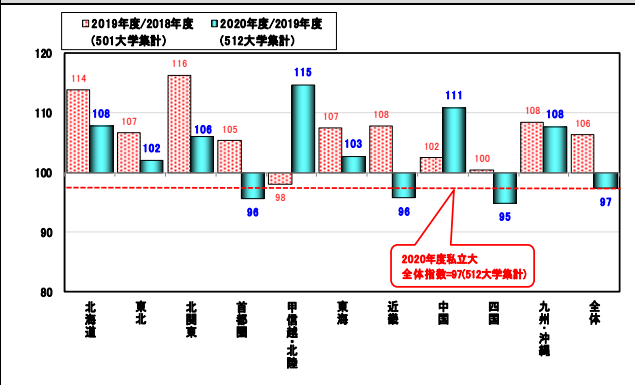
減少要因

- 前年度入試での弱気な出願の結果、既卒受験生が減少
- 当初予定されていた大きな2021年度入試改革への不安による一般選抜の敬遠
- 前年度の激戦の結果、センター試験利用方式の敬遠顕著(対前年指数91)
- センター試験の平均点ダウンによるセンター試験利用方式・事後出願可能大学の志願者数減少

【系統別志願状況】文系が減少に転じ、理・工が連続増加で、「文低理高」へ、医・薬の人気回復なし

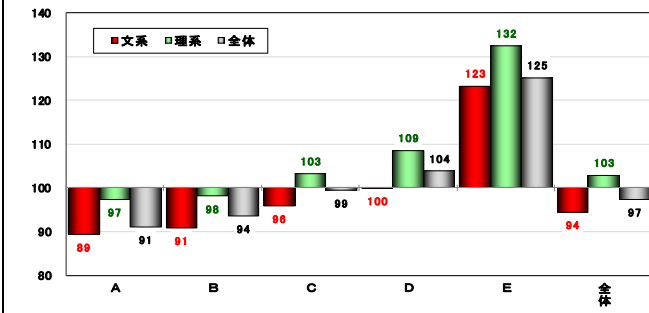


【地区別志願状況】首都圏、近畿の減少が全体の減少に直結、地方では2年連続増加の地区も目立つ

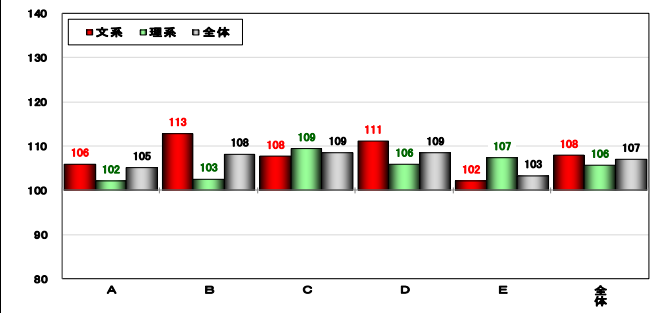


【グループ別志願・合格状況】志願者数は文系がA・Bで10%前後減少、増加はEのみ、合格者数は文理とも全グループで増加

模試合格判定ライン(B判定ライン) グループ別志願者指数

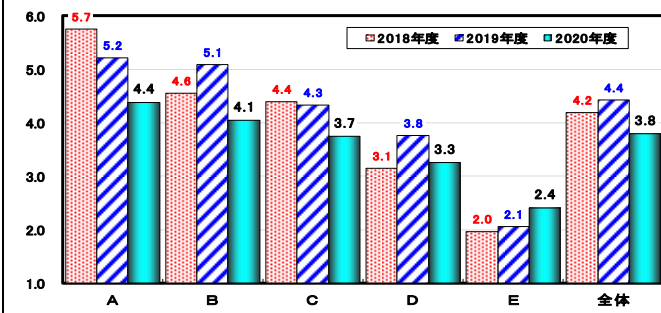


模試合格判定ライン(B判定ライン) グループ別合格者指数



【グループ別実質倍率】文系はA~Dのダウン目立つ、Eのみアップ、理系はA~Dはほぼ前年度並、Eは文系同様アップ

文系



理系

